

『 肝硬変合併症の新しい治療法 』

肝臓川柳



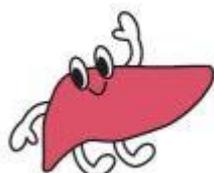
『腹水に サムスカ良いて まじっすか!』

(まじっすか…マジッスカ…ツスカ………… 『スカ』しか合わない(T_T))

……………ノノノノノ

■腹水に対するトルバプタン治療のその後～

肝硬変の一番の原因であるウイルス肝炎の予後は抗ウイルス薬の進歩により著しく改善していますが、肝硬変に進展した後は合併症（腹水、肝性脳症、門脈圧亢進症、肝がん）の治療が主体になります。腹水に対しては利尿剤投与などを行いますが、既存の利尿剤では種々の問題（低アルブミン血症下では効果不十分、低ナトリウム血症、腎障害増悪）があり、また、1年前も紹介しましたが、新規利尿薬であるバソプレッシン V2 受容体拮抗薬トルバプタン（商品名：サムスカ）が使用可能となり広く使用されています。当院でも 50 例を超える腹水コントロール不能例に使用しました。トルバプタンは、低アルブミン血症下でも利尿効果が高く、電解質異常は既存の利尿剤と相殺され臨床的にあまり問題なく、高度腎障害例でも効果があり、むしろ腎臓保護作用を有します。腎臓疾患の患者さんでは透析の回避に使用されており、肝硬変でも腹水穿刺などの侵襲的治療の回避に一役を担っています。トルバプタン継続投与の長期効果、安全性も現在のところ良好の様ですが、予後を含めた検討はこれからです。トルバプタンは非侵襲的な腹水の新しい治療薬として注目されています。



これだけ覚えておけば損はない!

今 回 の ポ イ ン ト

C型慢性肝炎、肝硬変に対する抗ウイルス経口2剤による治療が爆発的な勢いで行われていますが、いくつかの問題もあります。その一つとしてHCV変異の問題なのですが、確実な治療効果に結びつけるためにも治療前にHCV変異を検査することが勧められています。今月より特定の医療機関では無料で測定が可能となりますので、確実に検査を実施していきましょう。

(文：福井県肝疾患診療連携拠点病院運営委員会 野ツ俣 和夫)